

京都府総合見本市会館「パルスプラザ」にて 第45回全国左官技能競技大会を開催

松柳孝選手（石川・(株)イスルギ）が優勝

日本左官業組合連合会

（一社）日本左官業組合連合会（守屋清会長）は11月8日から11日までの4日間、京都府京都市の京都府総合見本市会館「パルスプラザ」において、第45回全国左官技能競技大会を開催した。

この大会は、昭和38年に東京都・日左連会館において第1回大会が行われて以来、左官業界の健全なる発展と技能者の技術向上、技能の地域格差の解消、並びに時代に即応した有能技能者の確保を目的に開催されているもの。45回目となる大会は京都府総合見本市会館「パルスプラザ」1階の特設会場にて開催され、大会期間中に同会場にて開催となった京都ものづくりフェアの来場者も集めて盛大な大会となった。

大会は、日左連の全国10ブロック会の代表および会長推薦5名の計15名の優秀技能士が技を競い、全国最優秀者を決定。入賞者には国土交通大臣賞、厚生労働大臣賞のほか各賞の表彰が行われる。また、大会実行委員および審査委員は日左連会員により選任された後輩の技術育成と人格の陶冶に積極的に取り組む熱意あるメンバーで構成されている。

今回の競技課題は高さ2010mm×幅1920mm×奥行710mmで、天井見付は石膏置き引き、正面壁腰上には白漆喰、火燈窓および窓内は赤漆喰と群



▲白熱した競技の模様。
（円内は挨拶する守屋会長）



多くの来場者が熱戦を見守った。▶

青漆喰、筆返しに黒漆喰、正面腰壁には擬板、袖壁に黄土切返し、巾木に擬石や御影洗い出しなど、各部に納め方が決められ難易度の高い課題設計となった。各選手は審査員や観客らが見守るなか、限られた時間と格闘しながら真剣な眼差しで課題に取り組んだ。

3日間にわたり繰り広げられた熱戦の結果、日左連会長推薦の松柳孝

選手（石川・(株)イスルギ、総合得点：442.16点）が優勝に輝いた。また、準優勝には日左連会長推薦の荒木大介選手（福岡・(株)富士工舎、同435.06点）、3位は四国ブロック会代表の越智新次選手（愛媛・(有)越智建装、同430.54点）となった。また、大会初の女性選手として奮闘した土肥明日香選手（富山・(株)マツウラ）に審査員特別賞が授与された。優勝した松柳選手は「競技



▲優勝に輝いた松柳選手と作品



▲大会初となる女性選手・土肥さん



▲地球をイメージした巨大泥団子



▲大人気の泥団子作り



▲塗り壁体験も盛況だった



▲メーカー各社の展示コーナー

会は時間との戦いでした。課題では土物、特に角曲りや角切りで苦労しましたが、これまでの練習の成果が全て良い方向に出たことが良かった。優勝できて素直に嬉しい気持ちです」と語った。

大会最終日の11日には表彰式が執り行われた。表彰式で挨拶に立った守屋会長は関係各位に謝辞を述べた後、「本大会は日左連組織の各10ブロック会が持ち回り開催として、左官業の発展に大きな役割を担ってきた。選手の皆さんが非常に難易度の高い課題に取り組み、奮闘されたことに敬意を表したい。その卓越した技能は日頃研鑽を重ねた努力の結果であり、競技会の経験を普段の仕事

や後輩の指導に活かして、伝統技能の継承や業界発展に寄与いただければ幸いである」と語った。

今大会は土壁の本場である京都で開催され、過去最多の15名の選手が熱戦を繰り広げたほか、大会史上初となる女性選手の参加など話題の多い大会となった。また、会場協の屋外ブースでは左官材料メーカーによる展示コーナーが設けられたほか、約3万人の来場者を集める京都ものづくりフェアでの京都府左官業組合連合会および京都左官協同組合ブースとの共催となったことで(関連ニュース:40ページ)、同ブースの体験コーナーに訪れた一般来場者が選手の熱戦を観戦し、課題に真剣に

参加選手

参加選手	ブロック	都道府県	所属事業所
高橋正幸	北海道	北海道	福田左官工業(株)
八幡吉彦	会長推薦	東京都	(有)八幡工業
土肥明日香	北陸	富山県	(株)マツウラ
今成辰夫	会長推薦	東京都	吉村興業(株)
新垣友彦	九州	沖縄県	新垣工業
仲田哲也	関東	茨城県	(株)根子左
青野米司	東海	静岡県	(株)山梨工務店
白柏廣一	会長推薦	京都府	白柏左官工業
北園豊	近畿	兵庫県	(株)島田工作所
荒木大介	会長推薦	福岡県	(株)富士工舎
松柳孝	会長推薦	石川県	(株)イスルギ
島津努	甲信越	新潟県	佐久間工業(株)
越智新次	四国	愛媛県	(有)越智建築
星武徳	東北	宮城県	伊藤工業(株)
中川和泉	中国	山口県	下野工業(株)

取り組む選手の左官の技を肌で感じ、業界のPRの絶好の機会となった。

京都ものづくりフェア 2013 で体験型ブースが大盛況 京都左官協同組合、京都府左官業組合連合会

京都左官協同組合（倉理一郎理事長）、京都府左官業組合連合会（山本勝己会長）は11月9・10日の2日間、京都市伏見区の京都府総合見本市会館・パルスプラザで開催された「京都ものづくりフェア 2013」において毎年恒例となる泥団子作りや漆喰絵制作体験、壁塗り体験といった体験コーナーを実施し、左官を広くPRした。

同フェアは京都におけるものづくり産業の優れた技術や技能を紹介し、実演や体験を通じて「ものづくり」の大切さや技術技能の素晴らしさを感じて京都府産業の振興と技能尊重気運の醸成を図るというもの。同組合では、毎年、左官施工の実演や体験を通じて左官のPRを行っており、これまでも京都にゆかりのあるモチーフで

好評を博してきた。今回は日本左官業組合連合会主催の第45回全国左官技能競技大会が同会場にて同時開催という形となり（関連記事：P8、9）、一般ユーザーのほかにも業界関係者が多数来場した。

設置されたブースでは、入り口に地球をイメージした大型の光る泥団子が登場し、漆喰の効用をPRする展示が行われたほか、毎年、開会直後に整理券が終了してしまうほどの人気となる光る泥団子作り体験、塗壁体験コーナー、漆喰絵体験、干支人形の配布なども行われ大盛況となった。特に体験型ブースでは、小さなお子さんが積極的に体験に参加するなど普段馴染みのない左官に触れることで、親御さんにも左官の楽しさや材料の良さなどが伝わり、大いに左官



▲来場した子供達も参加して漆喰絵を完成させた体験ブース

のPRとなった。

同組合は、このイベントを漆喰や土壁の持つ機能を一般ユーザーに周知させる重要な広報活動として位置づけており、今後もイベントを通じて左官を一般ユーザーに向けてPRを続けるほか、組合を通じてのPR活動を積極的に行い、左官工事の拡大につなげていくとしている。